



南小だより

E-mail kogenminami@ac.city.myoko.niigata.jp

〈教育目標〉

進んで学ぶ子

思いやりのある子

最後までやりぬく子

〒949-2112 妙高市関川1592

TEL: 0255-86-2104

FAX: 0255-86-3212

自己肯定感をはぐくむ夏に

校長 渡辺 伸一

今日で1学期が終了しました。子どもたちは、4月から様々な教育活動や体験を通して、着実に成長してきました。日ごろ学校の活動を理解し、子どもたちを温かく見守り、励ましていただいた保護者や地域の皆様のご支援、ご協力に深く感謝申し上げます。

さて、日本と諸外国を比較した調査によると、日本の子どもたちの自己肯定感は、諸外国と比べて低いことが示されています。未来を担う子どもたちが、自信をもって生活し、社会の担い手として、健やかに成長するために、私たち大人が自己肯定感をはぐくむ取組を進める必要があります。教育再生実行会議は、子どもたちの自己肯定感をはぐくむため、大人は次の5つのように子どもたちに向き合うことが重要であると述べています。

- ・子どもの「個」を尊重しつつも、子どもたちが自己と他者を区別し、自分が社会の一員であることを認識できるようにすること。
- ・社会には多様な価値観があることを大人自身がしっかりと認識した上で、子どもの発達段階に応じて接すること。
- ・自己肯定感が人との関わりを通じて形成されることを踏まえ、子どもに関わる全ての大人が自身も自己肯定感をもって子どもと接すること。
- ・大人が様々な場面で、子どもの良いところを褒めたり認めてあげたりすること。
- ・良いところは積極的に褒め、叱るべきところでは叱るなど、大人が愛情を持って積極的に関与し続ける姿勢を示すこと。

加えて、就床時刻と自己肯定感に一定の相関関係が見られるなど、規則正しい生活習慣を身に付けることは、自己肯定感を育む上で重要です。また、生活習慣を身に付けるに当たっては、幼児期における遊びや体験活動が重要な役割を果たすことが指摘されており、こうしたことを踏まえた取組を進めていくことが必要です。

明日から1ヶ月余の夏休みを迎えます。家庭や地域での規則正しい生活や、安全安心への配慮、計画的な学習等についてお願いします。詳細は、別紙『夏休みのすごし方』をご覧ください。ご不明な点や気になることがございましたら妙高高原南小学校(Tel86-2104)までご連絡ください。8月28日(月)に、子どもたちが、自己肯定感を高め、輝く笑顔で2学期始業式を迎えられますよう、充実した夏休みを過ごしましょう。

朝！元気スタート運動



全校児童が登校するのをまって通称“もぐら山”で、みんなそろって集合写真を撮りました。

この写真は、妙高市教育委員会で取り組んでいる『朝！元気スタート

運動』の妙高高原南小学校バージョンに使われています。ところで皆様、『朝！元気スタート運動』で、家庭で取り組んでほしい3つの取組はご存じですか？

- ・じょうずにメディア・・・テレビやゲームとのかかわり方はいかがですか？
- ・たっぷり睡眠・・・低学年9時間、中・高学年8時間は睡眠時間を確保しよう！
- ・しっかり朝食・・・朝食は毎日ちゃんと食べましょう！！

朝は1日のスタートです。いい朝にするため、日中の過ごし方にもご配慮ください。